

2020年2月期 第3四半期 決算説明資料



株式会社 MS & Consulting

連結P/Lサマリー(前年同期比)

(単位：百万円)

	2020年2月期 第3四半期累計 (実績)	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
売上収益	2,047	1,959	88	4.5%
営業利益	215	219	-4	-2.0%
税引前利益	214	219	-5	-2.3%
当期利益	149	156	-7	-4.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	151	159	-8	-5.1%

✓ 前年同期比で増収

- 国内におけるミステリーショッピングリサーチ事業(以下、MSR事業)の売上収益は1,995百万円(前年同期比90百万円増、同4.7%増)
- MSRの活用を総合的にサポートするためのコンサルティング・研修の売上収益は283百万円(前年同期比94百万円増、同49.8%増)
内、サービスチーム力診断(以下、STAR)の売上収益は106百万円(前年同期比49百万円増、同85.3%増)

✓ 前年同期比で減益

- 増収となったものの、予算に届かず、一方で販管費は、中期経営計画の実現に向けた積極的なマーケティングとシステム関連への投資など、予算通り増加(前年同期比74百万増、同14.7%増)させたことにより減益(p3、p4参照)

注：MSR事業には、ミステリーショッピングリサーチ(以下、MSR)の活用を総合的にサポートするコンサルティング・研修(以下、コンサル)を含む

連結P/Lサマリー(予想進捗率)

(単位：百万円)

	2020年2月期 第3四半期累計 (実績)	2020年2月期 連結会計年度 (予想)	予想 進捗率
売上収益	2,047	2,673	76.6%
営業利益	215	331	65.0%
税引前利益	214	331	64.6%
当期利益	149	222	67.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	151	220	68.5%

✓ 2020年2月期通期業績予想は達成の見込み

- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は76.6%、営業利益進捗率は65.0%
- 第3四半期累計の実績に第4四半期初受注残高(国内)を加えた2020年2月期通期業績予想に対する売上収益充足率は91.0%
- 2020年2月期は、更なる受注・計上の平準化を念頭に、前期よりも季節変動(注)割合の緩和を視野に入れた予算編成を行うも、第3四半期末時点では、平準化の動きが奏功しなかったこともあり、予算に届かず
- ただし、3月から1・2月へと第4四半期には一定程度奏功すると目論んでおり、2020年2月期通期業績予想は達成の見込み

注：当社グループは、3月末決算の顧客企業が多く、2月から3月にかけて、翌期のMSR実施に向けた準備として、調査企画・設計やコンサルティング・研修等の実施を要請されるため、当該時期の売上収益及び営業利益が高くなるという季節変動性があります。

連結P/Lサマリー(国内における売上収益の内訳)

(単位：百万円)

	2020年2月期 第3四半期累計 (実績)	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
売上収益	2,024	1,939	85	4.4%
MSR事業の売上収益	1,995	1,905	90	4.7%
(内、MSR)	1,712	1,716	△ 4	-0.2%
(内、コンサル)	283	189	94	49.8%
(内、STAR)	106	57	49	85.3%
その他の売上収益	29	34	△ 5	-14.7%
売上総利益	777	703	73	10.4%
<売上総利益率>	38.4%	36.3%	2.1%	-
MSR調査数	17.9万回	18.5万回	-0.7万回	-3.6%
STAR調査店舗数	2.6万店	1.5万店	1.1万店	78.3%

- ✓ MSRの売上収益は微減
 - 低粗利簡易調査や一部中小型案件の未継続、一部大型案件の調査頻度減少等により、調査数は減少も、調査単価は上昇
- ✓ MSRの活用を総合的にサポートするためのSTARをはじめとしたコンサルは引き続き大幅増
- ✓ 増収となったものの、予算には届かず
 - 上記要因により、MSRの調査数が想定を下回る
 - コンサルは大幅増も、マーケティング投資によって新規発掘は順調に進む中、受注リードタイムの遅れにより、当期受注が想定を下回る
- ✓ 調査単価の上昇やコンサルの増加により、売上総利益は10.4%増、売上総利益率も引き続き上昇

連結P/Lサマリー(段階利益内訳①)

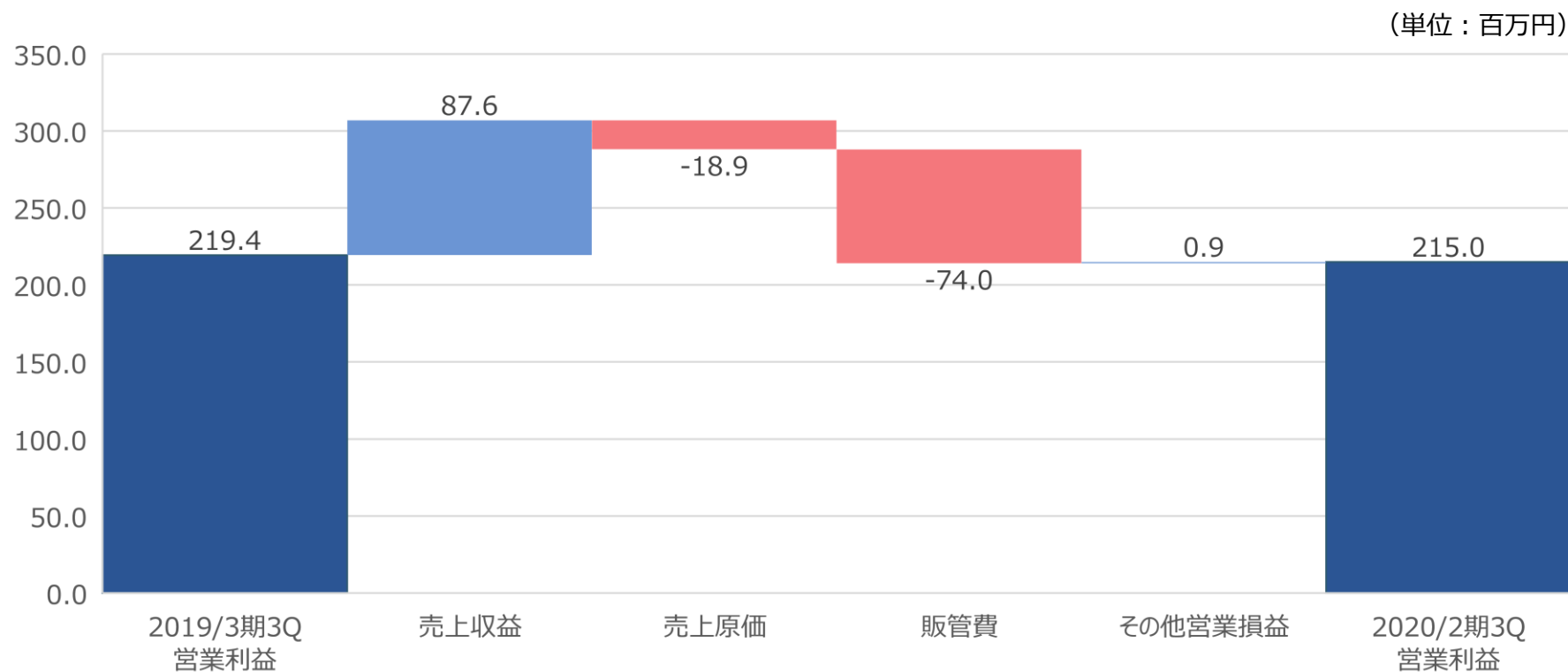
(単位：百万円)

	2020年2月期 第3四半期累計 (実績)	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	対売上収益	前年同期比
売上収益	2,047	1,959	100.0%	4.5%
売上原価	1,263	1,245	61.7%	1.5%
売上総利益	783	715	38.3%	9.6%
販管費	576	502	28.2%	14.7%
その他の収益	11	8	0.5%	33.9%
その他の費用	3	1	0.2%	156.8%
営業利益	215	219	10.5%	-2.0%
EBITDA	241	237	11.8%	1.7%
金融収益	0	0	0.0%	130.2%
金融費用	1	1	0.1%	130.0%
税引前利益	214	219	10.4%	-2.3%
当期利益	149	156	7.3%	-4.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	151	159	7.4%	-5.1%

✓ 販管費は前年同期比14.7%増

- 中期経営計画(2019年5月9日公表)に基づくSTARの商品力強化やシステムセキュリティ強化に伴う賃借料、広告宣伝費、リース会計基準の変更に伴う減価償却費等が増加

連結P/Lサマリー(段階利益内訳②)



前期比 -4.4

資 産	(単位：百万円)	
	2019年3月期 連結会計年度 (2019年3月31日)	2020年2月期 第3四半期 (2019年12月31日)
現金及び現金同等物	815	544
営業債権及びその他の債権	840	725
棚卸資産	1	1
その他の流動資産	40	64
流動資産合計	1,695	1,334
有形固定資産	41	36
使用权資産	-	50
のれん	2,224	2,224
その他の無形資産	68	90
その他の金融資産	49	49
繰延税金資産	19	28
非流動資産合計	2,401	2,477
資産合計	4,097	3,810

負債及び資本	(単位：百万円)	
	2019年3月期 連結会計年度 (2019年3月31日)	2020年2月期 第3四半期 (2019年12月31日)
借入金	58	129
リース負債	-	39
営業債務及びその他の債務	553	569
未払法人所得税等	104	0
引当金	9	9
その他の流動負債	21	13
流動負債合計	745	760
借入金	17	-
リース負債	-	9
引当金	17	17
非流動負債合計	34	26
負債合計	779	786
資本金	583	605
資本剰余金	1,918	1,539
自己株式	-	-
その他の資本の構成要素	-13	-14
利益剰余金	849	916
親会社の所有者に 帰属する持分合計	3,337	3,046
非支配持分	-20	-22
資本合計	3,317	3,024
負債及び資本合計	4,097	3,810

- ✓ 国際会計基準(IFRS)第16号「リース」におけるリースに関する会計処理の改訂に伴い、当社の会計処理を変更し、使用权資産とリース負債を計上
- ✓ 売掛金の回収が進み、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 自己株式の取得により、親会社の所有者に帰属する持分が減少(注)

注：2019年5月10日～2019年7月3日に取得した自己株式364,300株は、2019年7月31日に全て消却いたしました。

(単位：百万円)

	2020年2月期 第3四半期累計 (実績)	2019年3月期 第3四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	70	116	166.6%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	△ 20	△ 23	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 414	△ 136	△ 278	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	544	541	2	0.4%

- ✓ 営業活動によるキャッシュフローは、昨年と比較して収支改善
- ✓ 投資活動によるキャッシュフローは、システム開発による支出が発生
- ✓ 財務活動によるキャッシュフローは、運転資金の短期借入、新株発行による収入と、自己株式の取得、長期借入金の約定返済、配当金の支払による支出が発生

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。